

嵯峨野だより

誌

一般
財団法人



嵯峨野病院

在宅療養あんしん病院登録病院
www.jinpukai.or.jp/sagano/hp

Vol.59

2019WIN.



平成29年度
研修参加優秀施設 銅賞

目次

嵯峨野だより発行理念

新年のご挨拶

院長 小松 建次

院内行事のご報告

秋祭り

クリスマス喫茶

餅つき

地域健康教室

日本慢性期医療学会参加のご報告

在宅療養あんしん病院について

今後のイベントのお知らせ

交通アクセス

嵯峨野だより発行理念

目的

嵯峨野病院並びにその関連施設における包括的組織活動が広く社会から信頼を得るべく、その要望に対応し、よりよく情報を活かすこと並びに職員間の一層のコミュニケーション向上に資することを目的とする。

指針

- | 地域社会の関連施設との連携
- | 施設としての利用者の促進
- | 職員間のコミュニケーション促進と改善

平成26年4月制定

一般財団法人仁風会 嵯峨野病院 機関誌委員会

まごころ医療宣言

患者様に寄り添うことが何より大切と考えるからこそ、私たちは以下の10項目を宣言します。【平成7年制定】

1. 患者様とお呼びします
2. 患者様には常に真心と気配りそして優しい言葉と笑顔で接します
3. すすんであいさつをします
4. 患者様から頂き物はしません
5. いつも快適で明るく清潔な病院づくりに努めます
6. 患者様には常に適正な医療を提供します
7. 医師による説明と患者様の選択による医療を進めます
8. 患者様のプライバシーを尊重します
9. より良い医療が行えるよう研修・研鑽に励みます
10. 患者様の人生が最後まで豊かでありますようその意志を尊重します

新年のご挨拶

嵯峨野病院 院長 小松 建次

新年明けましておめでとうございます。

皆様にはお揃いでよき新年をお迎えになられたこととお慶びを申し上げます。

平成の新年は今年限りではありますが、十干十二支では己亥(つちのとい)の年であります。六十年前の前の己亥の年(1959年・昭和34年)は現天皇のご成婚の年でありました。奇しくもこの同じ己亥の年に退位されることに不思議な巡り合わせを感じます。

元号が改まるのは本年の5月1日であります。新元号の名は未だ判りませんが、わが国の最初の元号の「大化」(645～650年)以来、長い歴史の中で数多くの元号が生まれて現在の平成に至りました。

過去には天災、疫病流行、吉事、凶

事などいろいろな理由で改元されていた時代もありました。南北朝時代(1336年～1392年の56年間)には北朝と南朝でそれぞれ元号を制定したため、同じ年に二つの元号が並立していました。そして近代の明治に至りまして元号制定は新天皇即位時のみの改元制度(一世一元)となりました。過去の最も長い元号は昭和の62年と14日、最も短いのは暦仁(りやくにん)(1238年12月～1239年3月)の約2ヶ月余であります。

時は移り、人は変われども、医療の安全と患者さんへの思いやりの心は変わらないものであります。

新しい年の皆様の益々のご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げます。

院内行事のご報告

11/16 秋祭り



今年9月4日の暴風に耐えた当院の木々が色付き始めた中、1階の食堂・談話室で開催された秋祭り。

職員がやぐらをたてて、神輿をかつぐ会場で、患者様は炭坑節を歌われたり、風船割りゲームや的当てゲーム等を楽しまれました。

どらやきやアイスクリーム、緑茶やカルピスなどを用意した屋台コーナーもあり、お祭りの雰囲気を楽しんでいただきました。

12/20 クリスマス喫茶

クリスマスツリーを飾った会場で、ケーキやジュースなどを患者様にお召し上がりいただき、赤い衣装でサンタクロースに扮した職員が、患者様にささやかなプレゼントをお渡ししました。

また、今年は職員によるハンドベルの演奏を行い、患者様にも鈴で演奏にご参



加いただくなど、普段とは異なる賑やかなひと時を過ごしていただきました。

12/27 餅つき

年末恒例行事の餅つきでは、1階の食堂・談話室にお集まりいただいた患者様



の前で、職員が臼と杵を使って鏡餅用のお餅をつきました。

患者様と職員の「よいしょー、よいしょー」という掛け声の響く会場で、丸い鏡餅が完成した後は、患者様に餅麩のおしるこを召し上げて頂きました。「おいしい」と好評で、あっという間に完食されました。皆様、終始笑顔で楽しそうな様子でした。

地域健康教室のご報告

10月27日

「健康寿命延伸のために運動器不安定症の予防」

講師：嵯峨野病院 院長 こまつ けんじ 小松 建次

運動器不安定症とは、高齢化によりバランス能力や移動歩行能力の低下が生じ、その為に閉じこもり、転倒の危険性が高まった状態を言います。

人間の加齢による運動器の機能低下は誰にも避けられない宿命です。歩行能力の低下を招く要因には、外出しない、メタボリックシンドローム、大脳神経の衰えを招く認知症など様々ですが、下半身の筋力やバランス能

力を衰えさせない為にも、スクワットや片脚立ちなどの運動をしましょう。

また、転倒・転落により長期間の寝たきりになり、心身の活動性が低下した為に病的状態へ陥る事もあるため、足元の段差に気をつけ、何事も慌てず、悪天候や夜間の外出にはより注意して行動し、履き物や食事にも気を配り、転倒・転落に注意していきましょう。

11月24日

「おいしく減塩！」

講師：嵯峨野病院 管理栄養士

塩分の過剰摂取は高血圧等の生活習慣病を招きますが、日本人の平均塩分摂取量は世界の中でも多いとされています。

一般的に減塩食はおいしくないと思われていますが、うま味が豊富な食材を選び、風

ななお たつや
七尾 達也

味豊かに仕上げたり、酸味・辛みをきかせ、献立にメリハリをつけるなどして調理を工夫すればおいしくすることができます

おいしく減塩し、健康な身体を維持していきましょう。

12月22日

「歯周病について ～今、知っておきたいこと～」

講師：嵯峨野病院 歯科衛生士 おがわ こ 小川 ユカ子

歯周病は、普段の歯磨きで歯垢が除去できていない事が原因となる事が多く、症状が進むと最終的には歯を支えている骨が溶けて歯が抜けてしまいます。また、糖尿病や心臓病等の疾患とも関連性があります。

正しく歯を磨くにあたり、まず歯ブラシ選びのポイントとして、ブラシヘッドが小さ

く、歯ブラシのネックと持ち手がまっすぐである事等があります。磨く時は、歯と歯の境目に歯ブラシを当て、軽い力で小刻みに動かします。デンタルフロスや歯間ブラシも使用して隙間の汚れも取り除きます。歯周病の再発や進行を防止するためには、医療機関での定期的な検診とクリーニングが大切です。

第26回 日本慢性期医療学会 in 鹿児島

平成30年10月11日・12日 場所:城山ホテル鹿児島



第26回となる日本慢性期医療学会が鹿児島で開催されました。今回のテーマは「超少子・高齢社会～慢性期医療からの提言～(多死・人口減少、労働力の低下・経済力の衰退に向き合う)」で、今後の医療政策についてや介護医療院、地域包括ケアなどについてのシンポジウムと、多数の一般演題発表が行われました。また関連企業による展示ブースや書籍コーナー

も設置され、会場となった城山ホテル鹿児島は常に活気に包まれていました。

嵯峨野病院職員の一般演題発表

嵯峨野病院からは4つの一般演題発表を行うため、共同研究者を含め10名が参加しました。



- 「ターミナル期にある患者への看護」
看護部 看護師 川畑 桃子
- 「誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアの効果」
看護部 看護師 鈴木 優華
- 「経鼻経管栄養から完全経口摂取へ移行できた症例
～嚥下機能障害へのアプローチと嗜好を考慮した栄養管理～」
診療部 リハビリテーション科 言語聴覚士 田中 佑一
- 「療養型医療施設における歯科受診について
～抜歯治療への対応～」
診療部 リハビリテーション科 歯科衛生士 小川 ユカ子

在宅療養あんしん病院 登録システム

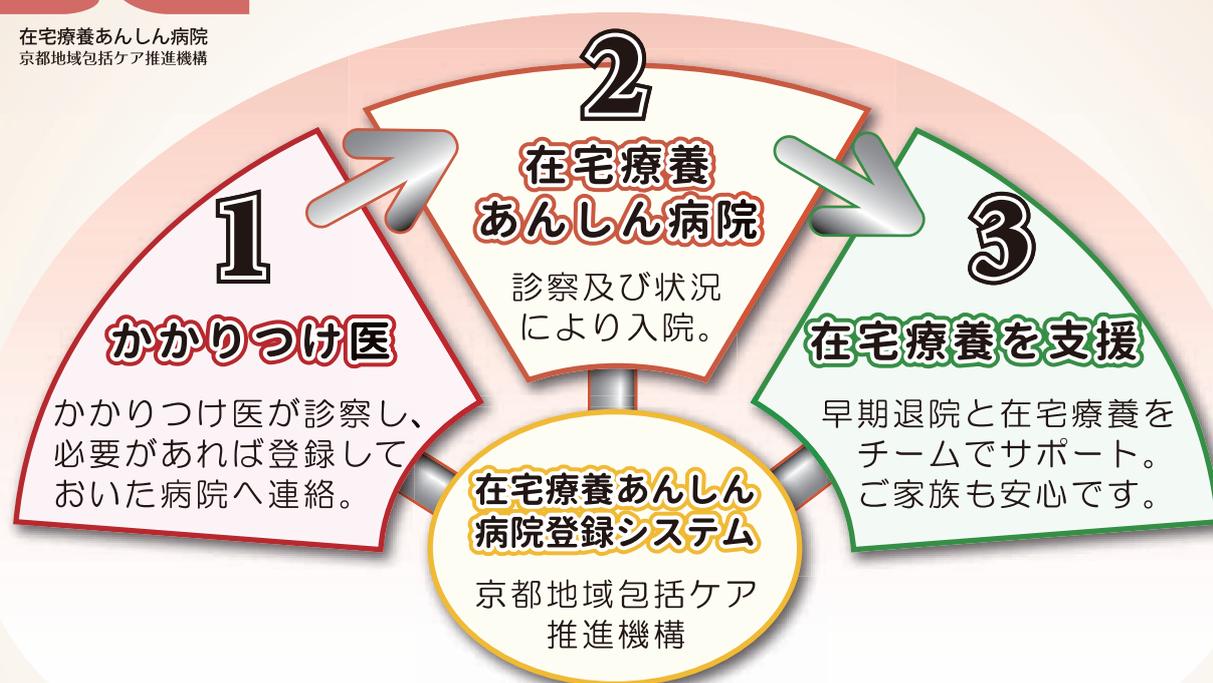
本システムに登録をすることで、事前にかかりつけ医と登録病院及び在宅療養を担当するチームとの連携を作り上げることができ、体調を崩された時でもよりスムーズな受診が可能です。あらかじめお選びいただいて登録した病院で詳しい診察や入院対応を行うので、患者様やそのご家族の不安解消にも役立っています。



在宅療養あんしん病院
京都地域包括ケア推進機構

※登録の際は必ずかかりつけ医にご相談ください。

※登録申請書は、かかりつけ医、あんしん病院、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所、地域包括支援センターに設置されています。



嵯峨野病院では、外来診察や入院治療だけでなく、在宅介護関連事業も幅広く行っております。本システムご利用方法などについても、詳しくご説明させていただきますので、ご不明な点やご不安な事などがありましたら、お気軽に受付までご相談ください。

対象となる方

京都府在住の65歳以上の方で、次のような在宅療養中の方が対象となります。

- 訪問診療を受けている方
- かかりつけ医に定期的に通院されている方

登録無料

要介護認定を受けている方であれば、嵯峨野病院を「あんしん病院」として登録することができます。(指定番号:シ-4)

※ご注意

本システムは、比較的軽度の病状変化によって在宅療養の維持が困難になり、1週間以内に退院できると見込まれる場合に利用できます。急性心筋梗塞、脳卒中、骨折などの緊急性の高い病気やケガ、および長期療養を目的とした入院は本システムの対象とはなりません。

今後のイベント開催予定

1月26日(土) 13:30～ 「地域健康教室」

「元気に歩行を続ける為に —そのために最低限必要な筋肉—」

講師：嵯峨野病院 理学療法士 岩田建都 いわた けんと 場所：嵯峨野病院 1階 食堂談話室
理学療法士 池村太雄 いけむら たお
理学療法士 丹田智裕 たんだ ちひろ

2月 1日(月) 13:30～ 「節分」

場所：嵯峨野病院 1階 食堂談話室

2月23日(土) 13:30～ 「地域健康教室」

詳細未定のため、決定次第にお知らせします

嵯峨野病院グループ 交通アクセス

①

嵯峨野病院

〒616-8251
京都市右京区鳴滝宇多野谷9
TEL：075-464-0321
FAX：075-461-7383

②

嵯峨野病院居宅介護支援事業所

TEL：075-467-8726

訪問介護事業所さかの

TEL：075-467-8736

〒616-8251

京都市右京区宇多野福王子町22番6
FAX：075-467-8007

③

嵯峨野病院 上野橋デイサービスセンター

〒615-8003
京都市西京区桂上野東町103
TEL：075-383-0900
FAX：075-383-0905



『嵯峨野だより』

題 字：理事長 清水 紘

編集委員：小松建次 戸梶きく子 樋口みゆき 武田亜紀子 布川祐未 高橋仁美
立入久仁美 寶迫真希子 松本 理 数元 彬 福島直人